豊田の養豚場 経営再開

豚コレラ 昨年の発生以降初

2月に家畜伝染病「豚(とん)コレラ」の感染が確認された愛知県豊田市の養豚場が18日、経営再開した。同県によると、昨年9月に岐阜県で豚コレラが発生して以降、発生養豚場の経営再開は全国初という。

養豚場の全ての豚562頭がいっこん殺処分された。愛知県によると、6月に豚コレラの検査を行ったところ、陰性だった。

養豚場は今月18日に母豚8頭を導入しており、10日ほどで子豚が生まれる予定だ。今秋には出荷が始まる見込み。鋤柄雄一社長(49)は「廃業も考えたが、スタッフや、おいしい豚肉を待つ人たちのことを思い、耐えた。経営を軌道に乗せ、豚コレラに打ち勝ちたい」と話した。